

# モニター通信 No.4

皆さんから寄せられた「モニター通信 11 月分」を紹介します。

「景気は良いですか。悪いですか。」

～アベノミクスで景気は良くなったと言われています。

商品の購入など、あなたはどのように景気を判断していますか～

## モニターから No. 1

私個人の日常生活においては、アベノミクスによる景気回復を実感できる事柄というのが思い浮かびません。普段から生活必需品以外の出費はあまりしない方なので、余計にそう感じるのでしょうか。パート先（個人商店の小売・卸販売業）でも、特に売り上げが上がるということもなく、淡々としています。業種によっては恩恵を受けている企業などもあるのですが、それが末端までおりてきているという実感は現時点では感じられません。

主人の給与や賞与が上がれば、景気が良くなっていると思えるのですが、残念ながらそれもしばらくはなさそうです。

## モニターから No. 2

《消費生活展に参加して》

過日開催された消費生活新治展が盛大に実施されたことについて、開催関係の皆様のご尽力に対して心より敬意を表したいと思います。毎回、趣向を凝らして実施されたこと、一部にマンネリ化しているとの感想もあるようですが、やはり回を重ねればそれなりの効果が十分達成出来ると思います。また、欲を言えば来場者に若年齢層がやや少ないとの感がしました。小・中・高校生の人たちが足を運んでくれると、更に良いと思います。

会場の選定にはある程度の広さが必要と思いますが、今後、荒川沖地区や神立地区についても会場の選定を十分考慮しつつ開催すれば、それなりの効果が更に期待出来ると思います。

## モニターから No. 3

景気は良くなったのですか。いつ良くなったのでしょうか。値上がりが続いています。アベノミクスの効果は、いつ一般市民に届くのでしょうか。消費税が上がる前に商品を購入しようと思いますが、景気が良くなったとは思いません。

## モニターから No. 4

好景気が続いているという報道を少し前テレビで見ましたが、一消費者として普通の生活の中ではその実感がありません。ひとつには現在我が家の収入は年金で、景気が直接影響してくるわけではないということ。そして社会全体にずっと漂っている節約ムードです。企業に収益はあっても、その恩恵が働く人や社会全体に行き渡っていないとも聞いています。働く人に恩恵が少なければ、消費は活発にはならないでしょう。

景気が良いと言われ、株価も高くなっている昨今ですが、企業も消費者も移り変わりの早い社会の中で次に何が起きるか不安を抱き、経済活動に消極的になっているように見えます。

#### モニターから No. 5

大変難しい課題ですが、一言でいえば良くなったとは思いません。アベノミクスは政府が掲げた経済政策で、金融緩和・財政出動・民間投資を喚起する成長戦略三本柱により、2%の物価上昇・大型公共事業投資・輸出産業の復活を目指すものであります。掻い摘んで申せば、暮らしやすい日本を再生しようとする政策と思います。最近の情報によれば、円安と株高は企業には好影響を与えています。しかし他の情報では、実質GDPはアベノミクス前に比べ、1%以上減少しています。

また雇用においても、正規雇用者数は変わらないものの非正規雇用者数は170万人ほど増加しています。身近な過去4年間の一所帯あたりの消費支出は10万円減少しています。この現象は当然のことで、将来性のない非正規雇用者の増加は生活の不安定化を示すもので、当然生活防衛を考えます。毎日の生活には、食料品の価格の上下に一喜一憂しています。少しでも安い肉・魚・野菜を求める主婦たちの声を聞きます。

また電気暖房商品・寝具類の安売り広告が通常値引きを越える商品が目立ちます。時期的な物を中心に少しでも購買力を高めようとしていますが、消費者は我慢しているのが現状と思います。購買力を高めるには、消費者収入を増やすことと安定した収入が不可欠です。正規雇用者増による生活安定化が、現政策を成功させると思います。

#### モニターから No. 6

孫と一緒に畑で野菜を作ります。お家で料理を作って仲良く食べます。小さな生産活動と消費活動の喜びの中で「準備と後片付け」の大切さを学びます。後先のことをよく考えた、調和とバランスのとれた「準備と後片付け」を勉強します。その都度工夫しますが、なかなか上手いききません。アベノミクスが自慢する好景気は、GNP?経済成長率のことでしょう。景気(経済状況)の一面が伸びたとしても、他の大切な面である調和やバランスを欠いた好景気では?格差社会の進展とか自然環境の汚染や破壊といった経済活動の、より基礎となる問題が先送りされたままの一時的な見せかけの「アベノミクス景気」では?

格差社会の底辺で生きる私には、景気が良くなっているなんてとても思えません。景気が良くても悪くても、生活に必要なものは要ります。自分の工夫で一日一日景気(バランス)良く生活する能力を孫たちと一緒に勉強し、身に付けていきたいです。

国民の財布を空にした上に、子供や孫の世代に残す一千兆円もの借金を作りながら「アベノミクス好景気」なんて自画自賛してみせる神経は、どう考えてもノンキ過ぎるヘンな話だと思います。

#### モニターから No. 7

私の周りの方は、皆さん余計な物はなるべく購入せず、買い控えしている方が多いように感じます。スーパーなどのお惣菜コーナーが値引きされる時間になると、待ってましたと言わんばかりに人々が何処からともなく集まってきて賑わっているのをよく見かけます。このような状況から見て、景気が回復しているとはとても思えません。

## モニターから No. 8

アベノミクス効果で、日本の景気が回復したといわれているが、なかなか実感できていないのが現状です。連日のように日経平均は上昇を続け、今や22,000円台でバブル期以来の高水準で推移している。この株価の恩恵にあずかっているのは、ごく一部の投資家の人たちであって、まだまだ日本社会の中には株式投資という風潮は根付いていないと思います。従って、企業の業績は上がり、円高の状況においても、直接賃金に跳ね返ってこないのが、実感としてわかないというのが理由ではないかと思えます。

でも、景気が良いということで世の中は、気分だけでも明るくなったとは思えます。

## モニターから No. 9

マスコミの報道では、確かに雇用促進の向上と最低賃金の確保等、景気は良くなってきていると言っていますが、特定層のみで一般人には恩恵はないと感じます。私たち年金暮らしの者には、年金は上がり下がるし、個人住民税・介護保険料・所得税等税金は否応なく自動的に天引きされ、物価は雨が多いか晴れ間が少ないとかで変動するし、本当に生活を維持するのに苦慮している現状です。ある人が言うように「一般人を感じる」ようにならないと、景気は良くなったと言えないと思えます。

当たり前と思いますが、商品を購入する際は値段と価値観と耐久性を考慮し判断します。景気の良さを肌で感じるのは、まだまだ先のことと思えます。

## モニターから No. 10

アベノミクスで景気が良くなったと言われていることは知っています。けれど、景気が良くなったという実感は全くありません。悪くなったとも思いませんが……。会社員でしたら昇給とか臨時賞与とかがあれば、景気が良くなったと実感できるでしょう。しかし、私たちは年金生活者です。景気に左右されることなく、毎日計画的に支出しています。

「将来年金の支給額が増額される！」という話でもあれば「景気が良くなった！！」と実感できると思えます！

## モニターから No. 11

### 『株高、消費に追い風』

日本経済は1%程度とされる潜在経済成長率を上回る成長が続き、民間エコノミストがまとめた最新予測では、実質経済成長率は平均1.6%で昨年の1.3%から回復が上向く。大手百貨店の宝飾や時計など単価の高い商品の販売が好調。小売り大手の多くが値下げに動き、日用品への支出を後押ししている。』とある。日本経済新聞11/16

大株主や高額所得者は景気の恩恵を受けているのだろうが、子ども達に聞いても給料はあまり増えてないと言うし、私たち年金生活者はなんかやと少しずつ減っている。景気が良いという感覚は無い。

毎日の生活に必要な食品や日用品類は、チラシをよく見て安い時に、どこで何を買うか考えて買うようにしている。電気製品は買い換えの時期に来ている物を、できるだけ値引き交渉して買う。衣類や化粧品は商品を比較し、必要度を考え、良い物を安く買えるよう店を見て歩く。孫へ

のプレゼントや友達との交際費は仕方ない。あまりケチケチしても生活に潤いが無くなるので、無理のない範囲で節約を心がけている。

#### モニターから No. 12

年金生活なので、ボーナスが増える減る等の判断材料が身近にないので、実感はあまりありません。年金を頂けているということは、大変ありがたいことです。本当に悪くなったら頂ける額は減ってしまうでしょう。現在、株価は上がっているようなので良いことだと思います。試しに勧められるまま少し買ってみましたが、ニーサは間に合わずその恩恵を受けることが出来ないということでした。

しかし、ミサイル・オリンピック諸問題・テロ・気候変動・災害等、不安材料が多く先行きはどのようなでしょう。就業率がよくなっているのは、とても嬉しいことです。やはり好景気であって欲しいと思います。

#### モニターから No. 13

アベノミクスによる経済効果として、成功したものもあればそうでないものもあります。若者にとっては就職率が上がる等効果が出ていますが、老年層にとっては何の恩恵も得られていないように感じます。景気は上向きだと言われていますが、中小企業を中心とした民間企業の給料は上昇率も低く、消費に関しても低迷したままです。物価に左右されて年金も下がることもあり、年金受給者にとっては安心できない状況です。私たちが若い時分にはこのような状況は想像すらできませんでしたが、後悔していてもしょうがないですね。

結論を言えば、これからは自己防衛、そして現実を見つめ身の丈に合った生活を心掛ける以外にはないように思えます。世の中を憂うばかりですが、平和な中に生きていけるだけでも幸せと感じていける心の余裕を持ちたいものです。

#### モニターから No. 14

社会全体を考えて本当に景気が良くなっているかという、少し疑問を感じます。我が家では商品の購入などは慎重に判断しております。

#### モニターから No. 15

《暮らしのセミナーに参加して》

日頃から生前整理について興味がありました。実際のやり方やどんなふう始めていけば良いのか、具体的なことを知りたいと思っていました。同年代で同じような経験をお持ちの徳山先生のお話は分かりやすくよくまとめてありました。とにかく思い切って処分していかなければならないということが分かりました。

私はまだまだ未練があって、写真を30枚にまとめたり、2年着ない服を処分するというのは、耳の痛いお話しでした。でも今だから出来るのだから、やらなくてはいけないのだということを教えられました。

#### モニターから No. 16

総理大臣は何かあると必ず、株価は上がり続け円高であるので景気は良いと言うが、会社を経

営していない、株など持っていない、外貨など縁のない一般庶民には全く何の恩恵もない。給料は上がらない、食費は高くなりつつあるので安いものを探して食べて、安い衣料品を買って何とか生きている。こういう庶民の現状を総理大臣はなぜ分からないのか。総理大臣の周囲には会社の経営者とか、学校法人の理事長とか、ゴルフの仲間とかばかりだから、庶民の感覚が伝わらないのであろう。太古の昔の聖徳太子のように、庶民の暮らしを見て歩いてもらいたいものだ。

そんな現状を知らないから、日銀総裁(これも庶民からかけ離れた生活をしているのであろう)に物価を上げるように急かせている。何ということだろう。いくら急かされても、一般の商人はモノの値段を上げれば、現状の庶民の生活状態では売れ行きが落ちてしまうことがわかっているから、値上げなど出来ない。憲法だ北朝鮮だオリンピックだと騒いでばかりいないで、まずは一般庶民の生活レベルの向上に目を向けてもらいたい。

#### モニターから No. 17

景気は回復傾向にあるといわれますが、むしろ昨今家計が厳しくなったと実感している人が多いのではないのでしょうか。アベノミクスの一貫として何度も実行された金融緩和ですが、その恩恵を受けたのは大企業のみで、それ以外の人賃金はあまり増えていないように感じられます。にもかかわらず、昨年には復興特別所得税の導入・国民年金や厚生年金の保険料の値上げなど、税金や社会保障費の値上げが続き支出は増え、加えて2019年10月には消費税率10%への引き上げも行われるなど、家計はより一層厳しくなることが考えられます。

暗い話ばかり書いてしまいましたが、少子高齢化社会の中、社会保障の変化にも対応できるよう、日々自分にできることを柔軟な気持ちで前向きに生活できるよう心掛けたいです。

#### モニターから No. 18

年金生活者になり経済活動は消費活動のみとなっているので、物価の上げ下げはとても気になります。「実感なき景気回復」と言われていますが、収入が年金のみであるので「実感」の部分が分かりません。景気が良くなってくれば年金もスライド式で上昇を伴っても、景気回復には少しも貢献していないので体感温度が低いのです。

アベノミクスという経済政策でどれだけ景気が浮揚し、生活実感として年金生活が向上したかは不明です。年金生活の向上には消費生活のセービングを伴うので、経済活動の浮揚には少しも協力できないのです。物価が上がることは年金生活者の消費活動の低迷になり、景気を沈ませることになるのではないのでしょうか。いずれにしても、年金生活者は物価の上げ下げにはダイレクトに反応せざるを得ず、物価を上げる景気浮揚政策により生活困難者が増大することも懸念されます。

#### モニターから No. 19

《海外で買い物した時の問題について》

娘がハワイで香水を買ってきたところ、せっかくの包装がどういうわけか崩れていました。日本にもお店があるブランドなので、同じ商品があれば交換してもらいたいと思い電話を入れました。すると、現地で買った品物是对応できないとの返事だったようです。記念にずっと手元に置いて使用するので箱も大切になるので、残念そうでした。

消費者として、世界共通のブランドだったら柔軟に相談できるパイプを作って欲しいと感じま

した。現地のお店も日本人へのセールスが過度にならないよう、働きかけたりチェックすることが求められている現状かもしれません。

#### モニターから No. 20

アベノミクスの影響か株価はバブル崩壊以来の高値をつけています。一部の投資家は笑いが止まらないでしょうけれど、年金生活者には縁のない話です。日銀は2%のインフレを目指し「物価を上げて景気を良くする」という考え方ですが、この理論はよくわかりません。物価が上がれば消費は増えないと思いますが……。すでに食料品や生活用品全般的に少しずつ値上がりしていると感じています。しかし、貯金の金利は上がっていません。

「人生百年時代」と言われるようになりましたが、その一方で少子高齢化は進み、国の財政は悪化の一途です。これらのことから想定されることは、医療費の値上げ、社会保険料の値上がり等です。再来年10月には消費税も10%になることが予定されています。上がらないことを望みますが。

株価の上昇で年金の収益金が30兆円増大したとのことですが、今度こそ運用に失敗しないで大切に守り続け、年金減額にならないようお願いしたいものです。商品の購入は景気の動向にかかわらず、本当に必要とするものだけを厳選して購入したいと思います。